

2024年度町田市の認知症施策の 計画について

東京都町田市いきいき生活部高齢者支援課
医療・介護連携/認知症施策担当

① 認知症とともに生きるまちづくりワークショップ ——認知症の人の社会参加の推進

【背景】

- ・まちづくりワークショップでは、地域団体、学生、専門職、認知症サポーターなどさまざまなセクターが参加し、「認知症とともに生きるまち」に向けて自分たちに出来る取組のアイデアを出し合ってきた。ワークショップで考えたアイデアを実現できることで、「認知症とともに生きるまち」により近づくのではないか。
- ・近年のまちづくりワークショップには認知症の人の参加が少ない。認知症の人が地域の中で生きがいをもって生活を継続できるためには、当事者の声をベースにした検討が必要ではないか。
- ・昨年度から認知症サポーターの登録制度を開始したことで、認知症サポーターとのネットワークが生まれてきている。また、認知症サポーターからは「地域で活動したい」という声を聞いている。認知症サポーターの活躍の場が求められている。

【目的】

- ・認知症の人が地域の一員として自分の役割が持てるよう、認知症の人の社会参加を支援する。

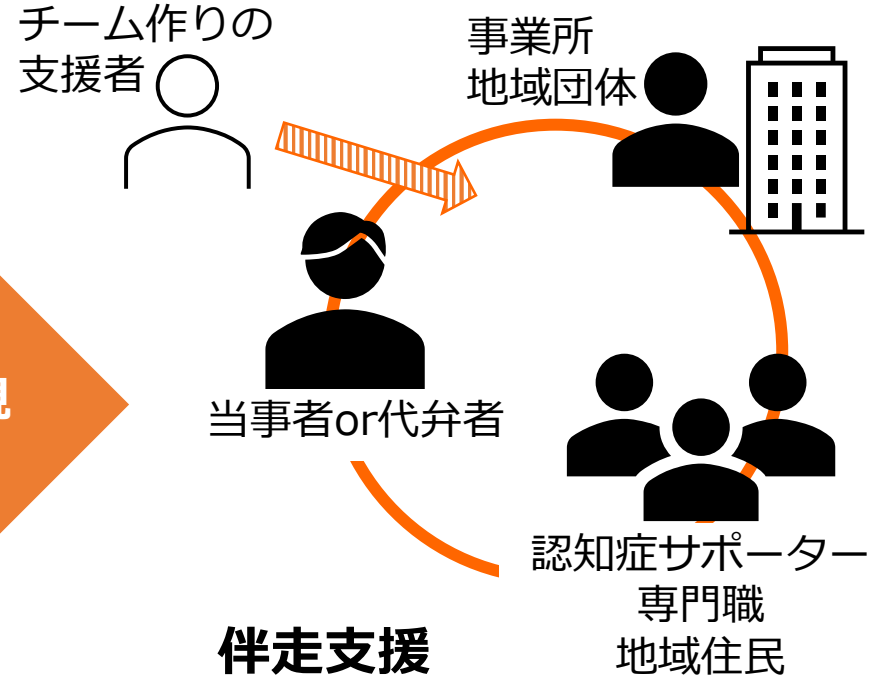
① 認知症とともに生きるまちづくりワークショップ ——認知症の人の社会参加の推進

【内容】



まちづくりワークショップ

当事者のやりたいことや
当事者とできることの
アイデア出しを行う



伴走支援

- ・チームの結成をコーディネート
- ・チームによるアイデアの実現

① 認知症とともに生きるまちづくりワークショップ ——認知症の人の社会参加の推進

【スケジュール案】

2024年度											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	<input type="checkbox"/> 5月～8月 ワークショップ①（認知症の人の社会参加）検討・準備			<input type="checkbox"/> 8/31 ワークショップ①実施							
			<input type="checkbox"/> 7月～3月 認知症の人の社会参加 伴走支援の検討・準備・実施・振り返り								

② 認知症とともに生きるまちづくりワークショップ ——16のまちだアイ・ステートメントの普及

【背景】

- ・ 16のまちだアイ・ステートメントは、まちだDサミットやまちづくりワークショップ等の中で、「認知症とともに生きるまち」を理解したり、考えを深める際のツールとして活用してきた。
- ・ 2023年度の調査によると、アイ・ステートメントの認知度は、市内事業者67.7%であったが、一般高齢者は0.3%と、十分な普及啓発ができていないと言われていることがわかった。
- ・ 「認知症とともに生きるまち」を実現するためには、より多くの市民にアイ・ステートメントを周知し、日々の生活の中で意識できることが必要ではないか。

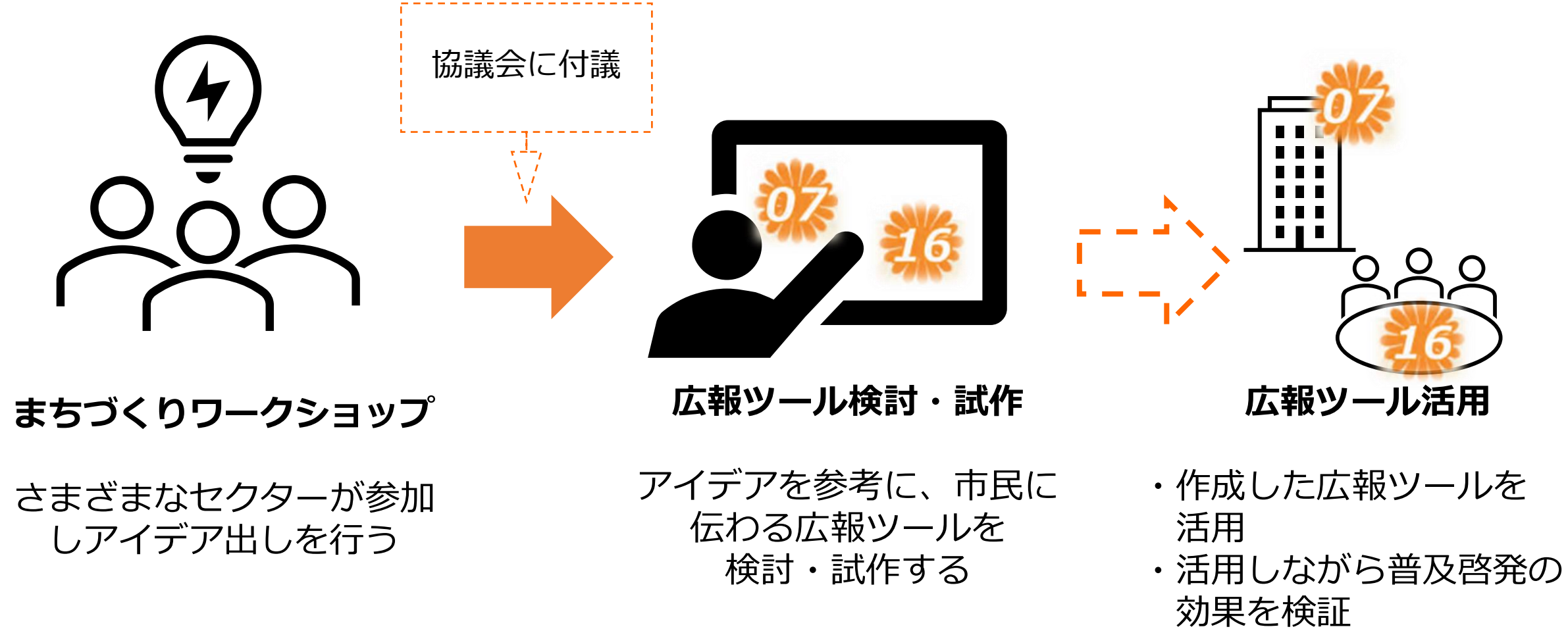
【目的】

- ・ 16のまちだアイ・ステートメントを広く市民に知っていただく。



② 認知症とともに生きるまちづくりワークショップ ——16のまちだアイ・ステートメントの普及

【内容】



② 認知症とともに生きるまちづくりワークショップ ——16のまちだアイ・ステートメントの普及

【スケジュール案】

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
<input type="checkbox"/> 4月～3月 「16のまちだアイ・ステートメント」の周知											
<input type="checkbox"/> 5月～9月 ワークショップ②（アイ・ステートメントの普及）検討・準備						<input type="checkbox"/> 10/26 ワークショップ②実施	<input type="checkbox"/> 11月～3月 広報ツールの検討・試作				

③ 認知症サポーターの活動支援

【背景】

・昨年度から認知症サポーターの登録制度を開始したことで、認知症サポーターとのネットワークが生まれてきている。また、認知症サポーターからは「地域で活動したい」という声を聞いている。認知症サポーターの活躍の場が求められている。

【目的】

・地域活動に関心のある認知症サポーターが地域で活躍できるよう、交流会の開催や地域活動の情報提供等を行い、活動への参画を支援する。

【内容】

- ・認知症サポーターに対し、より積極的に情報提供を行う。
- ・全域型だけではなく、地域型認知症サポーター交流会を開催する。
- ・全域型だけではなく、地域型認知症サポーターステップアップ講座を開催する。



④ 認知症の人の家族等への支援

【背景】

- ・ 認知症基本法では、認知症の人のみならず「その家族等に対する支援も」適切に行われること、と示されている。
- ・ 市内で実施されている取組等を整理したうえで、認知症のひとの家族等が必要としている支援を明らかにし、よりきめ細やかなサービスを提供していく必要がある。

【目的】

- ・ 認知症の人の家族等を対象とした支援を行うことで、家族等が抱える介護に対する悩みや不安（身体的なもの・心理的なもの）を解消する。

【内容】

- ・ 認知症の人の介護を行う家族等にヒアリングやアンケートを行い、支援ニーズを把握する。
- ・ 把握したニーズをもとに、必要な支援の手法を検討し、試行する。

④ 認知症の人の家族等への支援

【スケジュール】

2024年度											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	□5月～ 支援ニーズの把握			□8月～ 支援手法の検討 推進員連絡会で相談			□10月～ 試行に向けた準備・調整			□1月～ 新たな支援手法の試行	
	2025年度 予算要求	□6月15日 広報	□7月 協議会 に報告							□2月 協議会 に報告	
2025年度											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
□4月～ 試行結果について振り返り。事業内容再検討。 ※推進員連絡会で適宜相談						□10月～ 事業本格実施					

認知症の人の家族介護者等を対象に アンケートを実施します！

町田市いきいき生活部高齢者支援課

実施期間 6月15日（土）～7月31日（水）

対象

市内在住で認知症の人を介護している（していた）家族の方

※日常的に認知症の人を介護している（していた）方であれば家族以外の方でも回答いただけます。

目的

認知症の人を介護している家族介護者の支援ニーズを把握することを目的に、アンケートを実施します。

市内の様々な取組に関することや、介護をするうえで困っていること、今後必要と思われる支援について、ぜひご回答ください。頂いたご意見は今後の認知症施策の参考とさせていただきます。

回答方法

二次元コードを読み取りご回答ください。

※web上でご回答が難しい場合は下記担当までご連絡ください



問い合わせ先

町田市いきいき生活部高齢者支援課
医療・介護連携/認知症施策担当
TEL：042-724-2140

④ 認知症の人の家族等への支援

【想定される支援の例】

方向性① 相談体制の充実

例：介護の悩みや不安など気持ちを打ち明けられる相談窓口の充実

B P S Dへの対応や介護方法に関する専門職による相談支援の充実 等

方向性② ピアカウンセリングや家族同士の交流による繋がりづくり

例：認知症の人とその家族の一体的支援プログラムの実施

家族介護者交流会のブラッシュアップ

Dカフェのような緩やかな集まりでの交流 等